



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内

電話 0774-22-3141(内線2057) FAX 20-8776

E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 48 号

平成18年(2006年)7月



18年度の展望

宇治市国際親善協会

会長 上林 春松

今年(06年)はスリランカ・ヌアラエリア市(86年4月)、中国・咸陽市(86年7月)と友好都市盟約を締結して20年目を迎える年であります。

これを期に広く市民の草の根交流活動の推進をする目的で「宇治市国際親善協会」が設立(87年)されました。来年(07年)には20周年の歴史を刻むこととなりますが、この間、カナダ・カムループス市とも友好都市盟約を締結(90年7月)、交流事業もさらに進展することになりました。こうした時代の経過のなかで、また、それぞれのお国の事情によってさまざまではありますが、各都市との友好交流がたゆみなく続けられていることは「UIFA ニュース」でご報告いたしておりますが、こうした交流事業だけではなく、市民のみなさんに広く国際理解を深めていただくために、語学講座、講演会等の催事を、市民のボランティア団体の協力をいただきながら展開しております。

市民と市民の草の根友好交流こそが、これからの世界の平和の礎になることを願いながら、多くの宇治市民のご理解とご協力を仰ぎながら、さらに実りある事業を進めたい所存です。

平成18年度総会 事業・予算を決定

宇治市国際親善協会の平成18年度総会が、5月27日に宇治市生涯学習センターで開催され、平成17年度の事業報告及び決算、平成18年度の事業計画及び予算の各議案が承認されました。

国際交流講演会(スロバキアの歴史や文化を紹介)

宇治市国際親善協会では総会時に毎年開催の国際交流講演会を開催し、今年も5月27日(土)に生涯学習センター第2ホールにて、宇治市の京都大学黄檗キャンパスで学ぶジョゼフ・ユルコさん(31)と妻のジュリア・ユルコワさん(29)が母国スロバキアを紹介する講演会を開催しました。

夫妻は「スロバキアの現在を知る」とのテーマで、1993年にチェコスロバキアから分離独立したスロバキアの歴史や文化を日本語で紹介しました。

ユルコワさんは「別の国になったチェコに敵対心はない」と述べ、温泉が豊富でミネラルウォーターの種類も多いことを紹介して「日本円で1本30円」と話すと、会場からは羨ましがれる声がありました。ユルコさんが「ボディビルが人気」「日本同様、女の人強い」と話すと会場は笑いに包まれ、民族衣装を着けての踊りも披露していただき、拍手喝采が起きました。

世界の国々を市民に広く知ってもらおうと毎年企画して19回目となり、60人もの参加者に講演会を楽しんでいただきました。



平成18年度事業案内

＜啓発研修事業＞

【国際交流講演会】

会員及び一般市民に国際理解を深めてもらうために開催（総会当日に実施）

【語学講座】

外国語語学講座を9月から11月に開講

【友好都市紹介展】

友好都市ヌワラエリア市・咸陽市20周年記念写真展を開催

【UIFA(宇治市国際親善協会)ニュースの発行】

年4回発行

各500部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに情報提供

＜交流推進事業＞

【ヌワラエリア・咸陽市 20 周年記念事業】

咸陽市公式訪問団が7月に来訪の予定。

来訪時には協会による歓迎事業も実施

【友好都市への訪問団等の派遣事業協力】

日中友好議員懇話会咸陽市訪問(4月11日から15日まで)

宇治市トンプソン・リバーズ大学市民留学(4月27日出発)

宇治市カムループス市公式訪問(6月29日から7月7日まで)

宇治市中学生カムループス市訪問(8月16日から23日まで)

【友好都市からの訪問団の来訪歓迎】

咸陽市公式訪問団・咸陽市卓球訪問団等(7月)

＜その他の国際交流事業＞

「中国帰国者日本語基礎講座」、「日本語講座」や写真展などの各種事業への支援

国際交流・理解事業支援・(財)京都府国際交流センター等との交流促進

平成17年度 決算報告

収入の部

項 目	収入済額	説 明
1. 会 費	686,000	1. 個人会員 166 人 331,000 2. 団体会員 29 団体 145,000 3. 法人会員 21 団体 210,000
2. 補助金	2,184,152	1. 協会事業補助 1,000,000 2. 訪問団派遣事業補助 1,042,812 3. パソコン贈呈事業補助 141,340
3. 負担金	204,000	1. 語学講座参加者負担金 204,000 英語 11 名 中国語 14 名
4. 雑 入	9	1. 預金利息
5. 繰越金	367,954	1. 前年度繰越金
合 計	3,442,115	

➡ 収入済額 3,442,115円から支出済額 3,185,866円を差し引いた残額 256,249円は、翌年度に繰り越します。

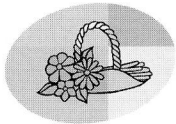
支出の部

項 目	支出済額	説 明
1. 会議費	42,673	1. 返信用はがき代 10,000 2. 郵送料 13,260 3. 消耗品費 18,060 4. 食糧費 1,353
2. 報償費	0	0
3. 事務費	104,346	1. 消耗品費 48,346 2. 通信運搬費 16,000 3. 印刷製本費 40,000
4. 事業費	2,838,847	1. 会報発行(年4回) 249,204 2. 語学講座 348,897 3. 日本語基礎講座 500,000 4. 提携事業 180,000 5. 友好都市交流事業 1,042,812 6. 来訪者歓迎 212,980 7. ホームページ管理費 91,500 8. 国際交流講演会 54,114 9. 友好都市紹介写真展 18,000 10. パソコン贈呈 141,340
5. 積立金	200,000	1. 設立20周年記念事業積立金 200,000
6. 予備費	0	
合 計	3,185,866	



ヌワラエリヤ市との友好都市盟約締結 20周年記念写真展

宇治市国際親善協会では、宇治市とスリランカ・ヌワラエリヤ市との友好都市盟約は締結されて20周年になるのを記念して4月11日から14日の間、市役所1階の市民ギャラリーで写真展を開催しました。1986年4月12日の友好都市盟約締結時の様子を写した写真や、ヌワラエリヤ市につくられた日本庭園の写真など20年の歩みを分かりやすく展示しました。



中国咸陽市 日本国宇治市 友好都市盟約締結20周年 記念写真展

日時 7月21日(金)から
28日(金)まで

場所 宇治市役所
市民ギャラリー

中国咸陽市との友好都市盟約締結20周年を記念して写真展を開催します。

平成18年度 予算報告

収入の部

項 目	本年度予算額	説 明
1. 会 費	800,000	1 個人会員 @2,000×200 400,000
		2 団体会員 @5,000×32 160,000
		3 法人会員 @10,000×24 240,000
2. 補助金	2,500,000	1 協会事業補助 1,000,000
		2 訪問団派遣事業補助 1,500,000
3. 負担金	600,000	1 語学講座参加者負担金 400,000
		@10,000×40名
		2 ヌワラエリヤ・咸陽市友好都市盟約締結 200,000
		20周年記念事業参加者負担金
4. 雑 入	751	1 預金利息等
5. 繰越金	256,249	1 前年度繰越金
合 計	4,157,000	

支出の部

項 目	本年度予算額	説 明
1. 会議費	60,000	1 総会費 60,000
2. 報償費	20,000	1 謝礼等 20,000
3. 事務費	123,000	1 消耗品費 50,000
		2 通信運搬費 30,000
		3 印刷製本費 43,000
4. 事業費	3,654,000	1 会報発行(年4回) 250,000
		2 語学講座 400,000
		3 日本語基礎講座 500,000
		4 ボランティア養成講座 50,000
		5 提携事業 240,000
		6 友好都市交流 1,500,000
		7 来訪者歓迎 220,000
		8 ホームページ管理 94,000
		9 国際交流講演会 50,000
		10 友好都市紹介展 100,000
		11 ヌワラエリヤ・咸陽市友好都市 200,000
		盟約締結20周年記念事業
		12 予備費 50,000
5. 積立金	200,000	1 設立20周年記念事業積立金 200,000
6. 予備費	100,000	
合 計	4,157,000	

会員募集と会費納入のお願い

平成18年度の会費納入をお願いします。

当協会の運営は皆様の運営によって成り立っています。

会の運営活動を活発に行うため、皆様方の会費納入をよろしくお願い致します。

併せて、会員の募集をしています。皆様方のご協力をお願いします。

会費 個人会員 2,000円
団体会員 5,000円
法人会員 10,000円

振込先 京都銀行宇治支店普通預金…67845

受取人は「宇治市国際親善協会」です。

カムループス市民が写真展と講演会

宇治市の友好都市カナダ・カムループス市に住む女性写真家のイレイン・セッジマンさんが、4月17日から27日まで市役所の市民ギャラリーで写真展を開催。

また、写真展開催中の18日に生涯学習センターで「場所への愛着・物語の中を散策すること」とのテーマで、日本語を話せる息子ケーシーさんの協力を得て、講演会を開催した。

講演会では、カムループスの原野を歩き、印象に残る光景をピンホールカメラで取り続けて、その時の体験が、旅路を語ることが道中にある目印や道標を含む旅紀行の「ストーリー」であった古代の旅人の思いと共鳴したと語り、また、19世紀の青写真の初期法とされるサイアノタイプで布地に感光させ、カムループスの草原に残る遺跡や古い建物など荒れ放題ながらも旅人の視線を集めるだろう気になる被写体を「ストーリー」にしたとのこと。こうして生まれたのが「道導(みちしるべ)」と銘打った写真展で展示した縦約2.5メートル横9メートルあまりの布製の掛け物に青写真のアップリケと刺繍を施したと作品だと説明。



この度はイレイン・セッジマンさんが、立命館大学の留学経験もあり只今日本で活躍の息子ケーシーさんのお子様の誕生で「初孫の顔を見るために日本にきた」のをきっかけに、友好都市の宇治市で作品展をと、宇治市国際親善協会が橋渡し役となって企画し、実現した。

オープニングでは、仲立ち役を務めた国際交流クラブの伊勢村紀久子会長、宇治市国際親善協会今川博運営部会長が写真展に至る経過等を交えて挨拶。

イレイン・セッジマンさんは、ご主人デービットさんと息子ケーシーさん共々、友好の使者として宇治市長を表敬訪問されました。

市民留学生在カナダ・カムループス市へ



市民留学制度は平成8年に宇治市とカムループス市間の友好都市5周年を記念して、宇治市からの推薦者を対象に

トンプソン・リバーズ大学が授業料などを免除する奨学生制度を活用してはじまり、今年で11年目になります。

今年の留学生は、大阪外国語大学の中谷桂子さん(19)、香川大学の瀬野麻衣子さん(20)、奈良県立大学の佐田春香さん(20)の3人。

出発に先立ち、宇治市を訪問し、久保田勇市長と高橋尚男議長から激励を受けました。

中谷さんは「文化のバックグラウンドを知ってこそ相手が理解できる、英語圏の文化を学び、宇治の良さも伝えたい。」と、瀬野さんは「雄大だと聞いている自然を見たい。広大な自然の中にある酪農について研究し、英語で情報交換したい。」と、佐田さんは「国際交流とは社会間の動きよりもダイレクトに人と人とが築き上げていくもの。たくさんの人々と話すことで国境を越えて人間のベースにあるものを見つけ、社会に貢献していきたい。」と抱負を語りました。

久保田市長は「向こうでの生活を楽しむとともに日本とカナダの橋渡し役になってください。」と、高橋議長も「市民親善大使として宇治市のことを十分に伝えてほしい。」とエールを送りました。

宇治市国際親善協会は交流推進事業として友好都市への訪問団や留学生の派遣事業に協力しています。

雑観雑感



『思うこと』

現在 友好都市の中では、国として外交的にきびしい問題含みのところもあるが、本協会の活動理念のもと、市民同士の交流は積極的に続けられている。

しかし、市民とすれば交流することには一抹の不安がある事も事実である。幸い身近に市民留学生として受け入れられ現地で生活し学んだ留学生や、中学生達がいる。その話が聞ける機会が出来ればより市民交流への理解につながるのではないだろうか。

特に今、一般市民向けの活動を親善協会として広げて行く必要を感じている。

N・M 記